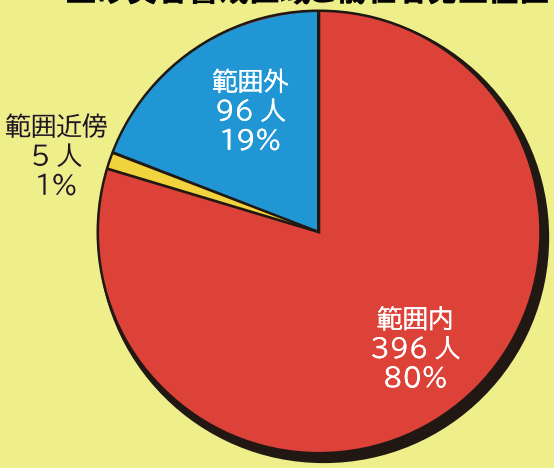
がけ地防災
市民カルテ
土砂災害を知ろう
平成26年8月豪雨 広島市

土砂災害の特徴

- 土砂災害は一瞬で発生する
  破壊力が高く、巻き込まれると
  助かりにくい
- 土砂災害は
  人命や財産が
  脅かされる
- 災害発生前に
  前兆現象が現
  れやすい

土砂災害警戒区域と犠牲者発生位置



出典：静岡大学防災総合センター　牛山素行 教授

SAPP_RO

さっぽろ市
01-M01-23-1832
R5-1-130

土砂災害の種類と発生までの流れ

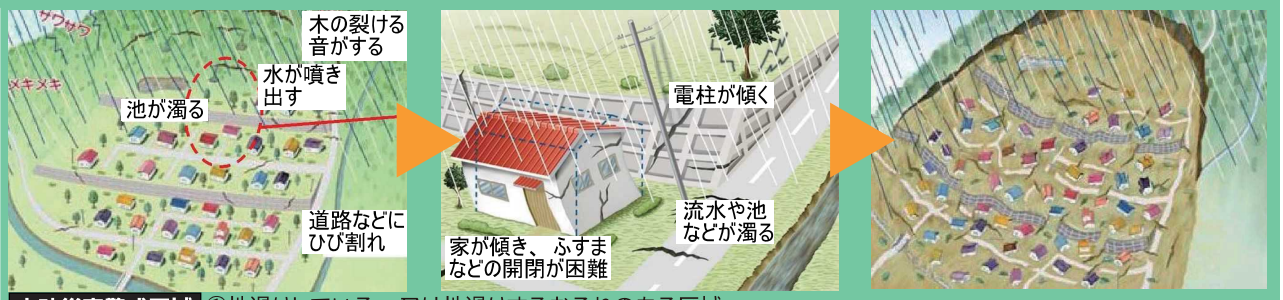
がけ地

土砂災害警戒区域の指定基準
①傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域　②急傾斜地の上端から水平距離が 10m 以内の区域
③急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの 2 倍（50m を超える場合は 50m）以内の区域

土石流

土砂災害警戒区域の指定基準
①土石流の発生の恐れがある渓流において、扇頂部から下流の勾配が2度以上の区域

地すべり



土砂災害警戒区域の指定基準
①地滑りしている、又は地滑りするおそれのある区域
②地滑り区域下端から、地滑り地塊の長さに相当する距離（250m を超える場合は 250m）の範囲内の区域

普段から心がけておきたいこと

①自分たちの住んでいる地域の土地をよく知っておこう
②町内会等で定期的にがけ地の状況を点検しよう
③前兆現象が現れる場所の普段の様子を知っておこう
④安全な避難ルートを確認しておこう

札幌市 HP
「がけ地防災とは」
https://www.city.sapporo.jp/toshi/takuchi/takubou/gake.html

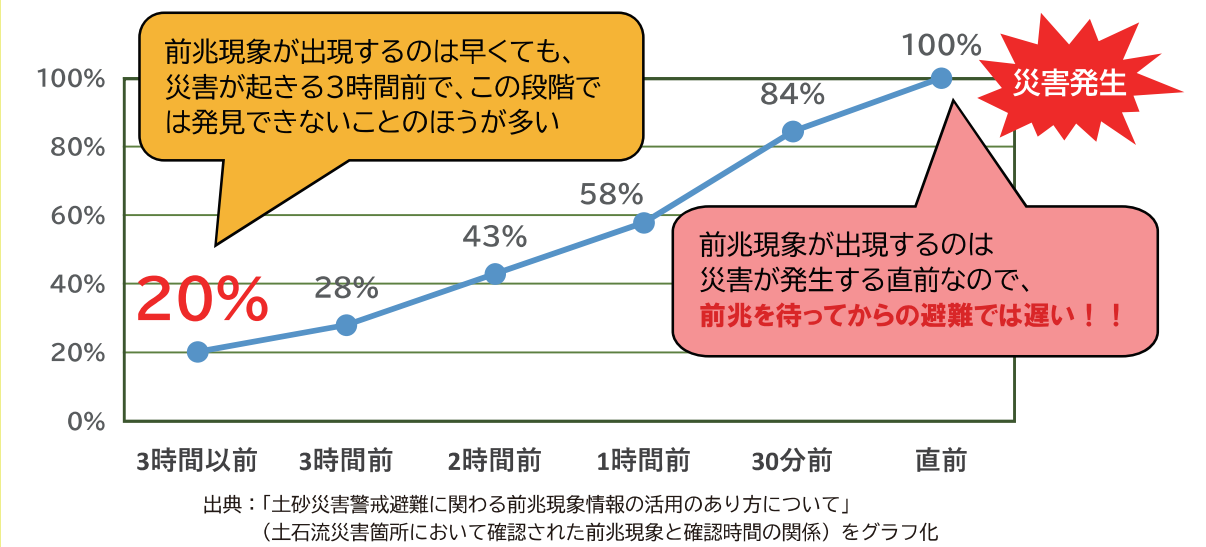
札幌市 HP
「土砂災害避難地図（ハザードマップ）」
https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/higoro/fuusui/dosha_keikai.html

国土交通省
土砂災害警戒避難に関わる前兆現象
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/dosya_zencho.html

気象庁
土砂災害に関する防災気象情報の活用
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/ame_chuui/ame_chuui_p8-1.html

前兆現象の出現は早くても3時間前

土砂災害発生の前には、前兆現象が現れることがありますが、現れたときには災害が起きる寸前！



出典：「土砂災害警戒避難に関わる前兆現象情報の活用のあり方について」
（土石流災害箇所において確認された前兆現象と確認時間の関係）をグラフ化

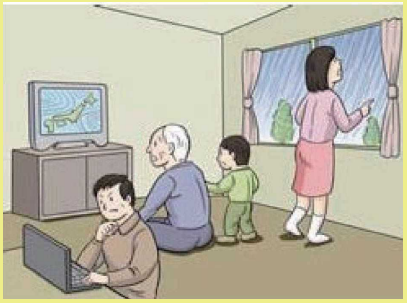
大雨もしくは大雨の予報が出た場合

①気象庁などから発表される今後の情報を確認
②ハザードマップ等で避難場所や避難ルートを再確認
③いつでも避難できるように準備（異変や不安を感じた場合はすぐに避難）
④前兆現象が出現していないか安全な場所から確認
（前兆現象のチェックリストで確認！ただし、危険を感じたら直ちに避難！）

北海道
北海道土砂災害警戒情報システム
https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/

気象庁
気象警報・注意報
https://www.jma.go.jp/jp/warn/

前兆現象が無くても早めに避難！



大雨時は気象庁の情報などをよく確認

いつでも避難できるように準備

早めに避難開始！

前兆現象に気づくためには

- 土砂災害が発生する直前は、何らかの異状（前兆現象）が出現することがあります。
- 前兆現象は、地形や地盤、植生により異なるため、どのような現象が現れるかを知ることは重要です。
- 前兆現象が出現しやすい場所が警戒区域内にある場合は、普段の様子を知っておくことで、前兆現象の出現に気づきやすくなります。

土砂災害で出現する前兆現象

場　所	前兆現象	✓
斜面全体	流れる水が多くないか、水が噴き出していないか	□
	石が転がったり崩れたりしはじめてないか	□
	斜面が膨らみだしていないか	□
	地面が揺れたりがけ地から低い音が聞こえないか	□
	土がかき混ぜられたような変なにおいがしないか	□
普段から湧き水が出ている場所	増えていないか	□
	濁っていないか	□
	減っていないか	□
近くの川の状態	木が流れてきてないか	□
	普段の大雨よりもすごく濁っていないか	□
	川の水が無くなっていないか	□
斜面に立っている木	木の根が切れる音がしないか	□
	木が徐々に傾きだしていないか	□
崖上の張り出し部分	小石がぼろぼろ落ちてきていないか	□
コンクリートの屏	膨らんだりヒビが増えていないか	□

※前兆現象を確認する際は、安全な場所から確認してください
※少しでも危険と感じたらすぐに避難しましょう

前兆現象に気づいたら連絡を！

- 前兆現象は土砂災害発生直前の赤信号。
- 気づいたら、緊急連絡先にお知らせするとともにすぐに避難してください。
- あなたの一報が地域の皆さんの命を守ります！！

■前兆現象、避難に関することは、
（避難場所の確認など）
札幌市手稲区役所：011-681-2400

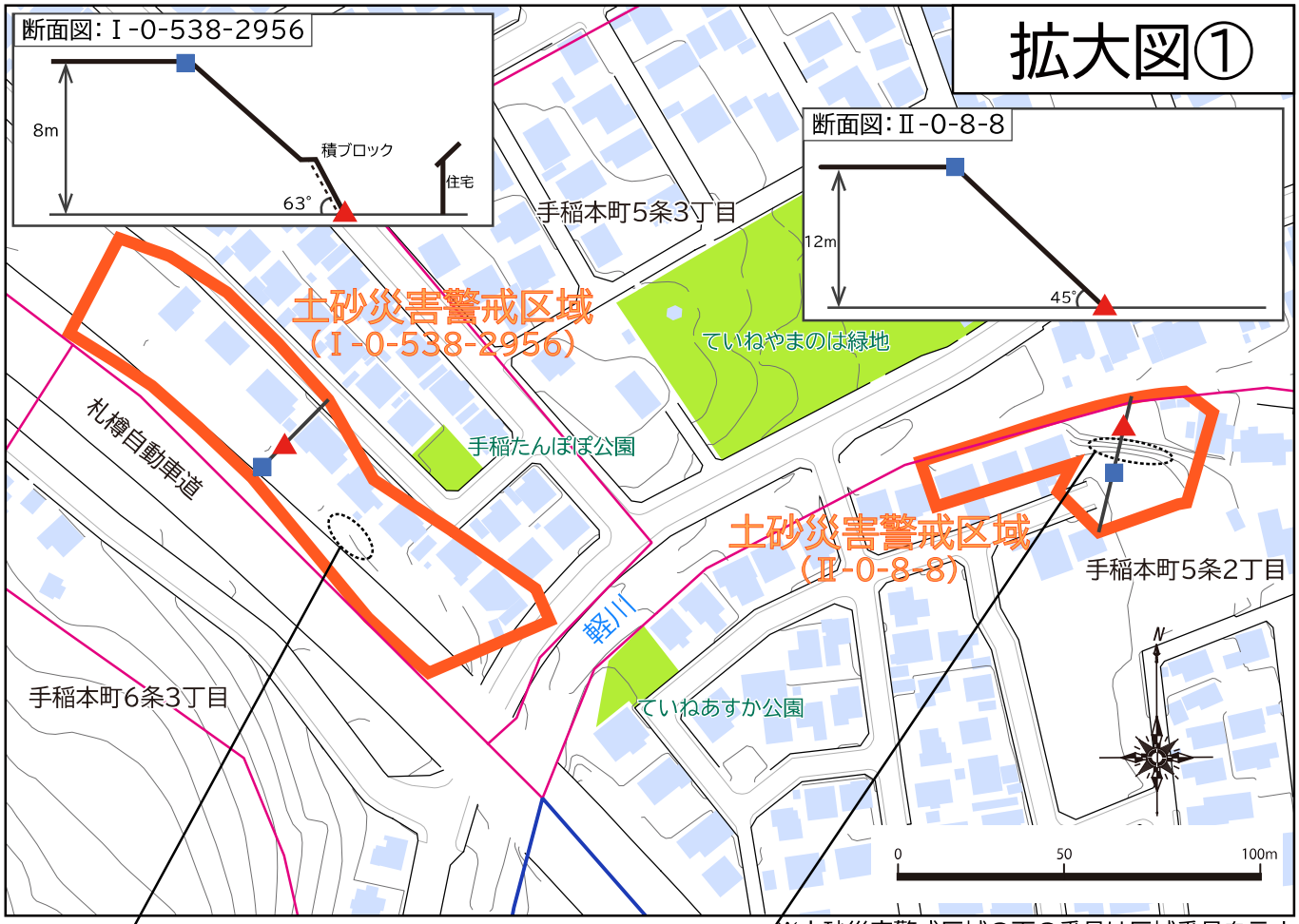
■災害に関すること（救急・救助など）は、
119番

■この資料に関することは、
札幌市開発指導課：011-211-2512

土砂災害の危険を感じたらすぐ避難！！

前兆現象（斜面全体）

- 水が多く流れている
- 石が転がったり崩れ始めている
- 水が噴き出している
- 徐々に膨らみだしている
- 地面が揺れたり低い音がする
- 土の変なにおいがする



※土砂災害警戒区域の下の番号は区域番号を示す

⚠ 変化に注意

場所：民家裏の斜面

普 段：一部転石がある。

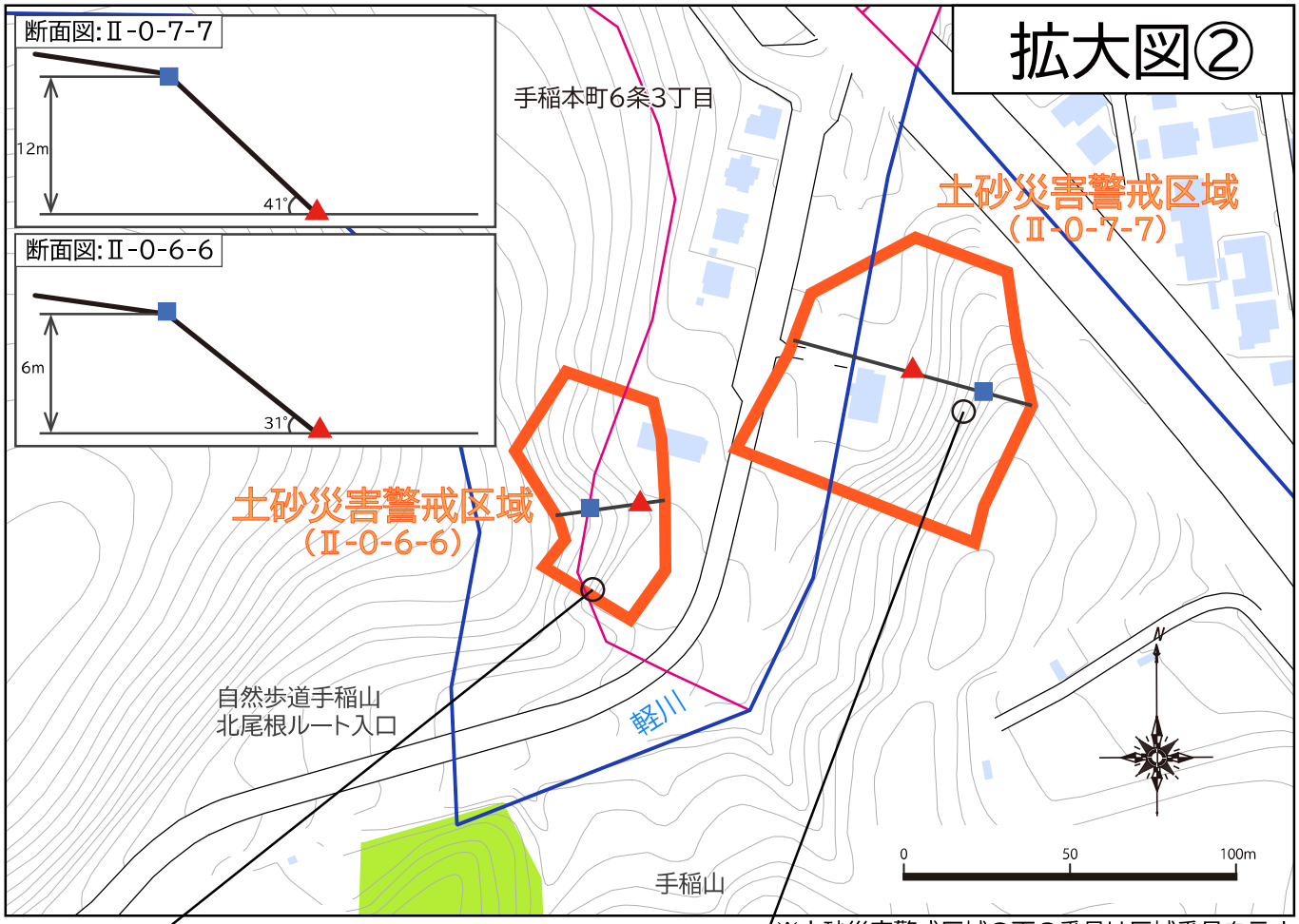
変化後：**小石の落下**といった変化に気づいたらその場所には近づかないこと。

⚠ 変化に注意

場所：斜面の上

普 段：木が傾いて生えていたり、木の根が見えている所がある。

変化後：**木の傾き・折れ**といった変化に気づいたらその場所には近づかないこと。



※土砂災害警戒区域の下の番号は区域番号を示す

変化に注意

場所:斜面下の水たまり

普 段:近くの沢から流れ出た水が溜まっている。

変化後:水が**増える・濁る・とまる**といった変化に気づいたらすぐに避難すること。

変化に注意

場所:斜面の上

普 段:下草が少なく、斜面が崩壊した跡がある。

変化後:斜面から**小石や土がぽろぽろと落ちる**といった変化に気づいたらすぐに避難すること。